平成 25 年 2 月 1 日

各　　位

会　　社　　名　　株式会社 宮崎太陽銀行
代　表　者　名　　取締役頭取 川崎　新一
（　コード番号　　８５６０　福証　　）
問 合 せ 先　　経営企画部長 福田　正之
（　Ｔ　Ｅ　Ｌ　　0985－24－2111　）

平成２４年９月期における経営強化計画の履行状況について

株式会社宮崎太陽銀行（頭取 川崎 新一）は、「金融機能の強化のための特別措置に関する法律」に基づき、平成 24 年 9 月期における経営強化計画の履行状況をとりまとめましたのでお知らせいたします。

進捗のポイント

1. コア業務純益

預り資産販売等の営業強化に伴い役務取引等利益が計画を上回ったほか、経費が計画を下回りましたが、貸出金利息が計画を下回ったことからコア業務純益は計画を下回る結果となりました。

今後は、小口融資を中心とした中小企業・事業性融資基盤の安定的拡大に一層注力するほか、コンサルティング機能発揮を通じた適正な貸出金利確保や消費者ローンの更なる推進によって貸出金利息収入の改善を図り、役務取引等利益や経費を計画以上に改善することによってコア業務純益の平成 24 年度通期計画を達成する方針であります。

2. 業務粗利益経費率

業務粗利益は資金利益の減少により計画を下回りましたが、事務費を中心とした物件費削減推進に適正人員の見直し等による人件費減少が加わって経費（機械化関連費用を除く）が計画を下回ったことから、業務粗利益経費率は計画より改善しました。

3. 中小規模事業者等向け信用供与の残高、比率

小口融資を中心として貸出残高の拡大に取り組んだものの、地域経済の低迷を反映して取引事業先の資金需要が低調であったほか、金融機関の競合激化等によって中小規模事業者等向け信用供与の残高及び総資産に対する比率は計画を下回りました。

今後は、営業店の小口融資拡大における新規事業先開拓やリレーション活動を強化し、平成 25 年 3 月期計画を達成する方針です。

4. 経営改善支援取組率

お取引先への公的助成金制度活用支援のほか公的機関や地元経済団体とのセミナー開催等を通じた経営支援・情報提供活動、中小企業再生支援協議会との連携によるお取引先の再生計画策定支援、小規模事業者ローン提案等を推進した結果、経営改善支援取組率は計画を上回りました。

＊ 進捗状況の詳細については、当行ホームページ（http://www.taiyobank.co.jp/）の経営関連情報に掲載しております「経営強化計画の履行状況報告書」（平成 24 年 12 月）の P3、P4 及び P37 から P42 を、関連する取組状況については P5 から P30 をご覧ください。

以　上

本件に関するお問合せ先：経営企画部　岡田
（ TEL 0985-60-6270 ）